

様式

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和８年度第１回新町小学校学校運営協議会
日時	令和８年６月１２日（金曜日） １３時３５分～１６時００分
場所	新町小学校 会議室
出席委員	萩原 基雄会長、高橋 裕一委員、忍足 順子委員、 中里 由架利委員、遠藤 衣純委員、松澤 菜月委員、 原 令奈委員、長嶋 浩之委員、佐藤 清人委員、 安達 隆元（新町小学校長）
欠席委員	内田 優委員
事務局	野尻 剛司教頭、岩田 宏子教務主任
議題	(1) 会長選出 (2) 令和８年度の学校経営方針について (3) 学校・家庭・地域における諸課題について
配布資料	資料１ 次第 資料２ 令和８年度学校経営方針について 資料３ 令和８年度グランドデザイン 資料４ しんまち日記 ５月２０日分 資料５ 新町小学校「新町広場」の桜の伐採について（変更のお知らせ） 資料６ ３日（水）における台風６号の接近に伴う臨時休校について 資料７ 校長室だより 第１号 資料８ 令和８年度鶴ヶ島市立新町小学校における働き方改革の推進について（お知らせ） 資料９ 学校だより 第１・２・３号 資料１０ 令和８年度学校運営協議会開催について 資料１１ 地域学校保健委員会について（ご案内） 資料１２ 授業参観一覧表 資料１３ 令和８年度年間行事予定表 資料１４ 令和８年度学校要覧 資料１５ 鶴ヶ島市コミュニティ・スクール資料
公開・非公開	公開
傍聴人数	０人
会議要旨	(１) 新町小学校学校運営協議会会長の選出 指名推薦による方法で、委員から賛成を得られたため会長が選出された。 (２) 令和８年度の学校経営方針について 令和８年度学校経営方針について校長が説明し、委員からご意見をいただいた。 (３) 学校・家庭・地域における諸課題について 「登下校・放課後の安全な生活、見守り」についてグループ協議を行った。

【議事概要】

議題 1, 新町小学校学校運営協議会会長の選出について

仮議長：選出の方法について、「立候補による方法」と「指名推薦による方法」があるが、「指名推薦による方法」で良いか提案した。

委員達：異議はなかった。

仮議長：「指名推薦による方法」で推薦者を募ったところ、校長から A 委員の推薦があった。

委員達：賛成を得られた。

仮議長：A 委員を新町小学校学校運営協議会の会長に決定した。

議題 2, 令和 8 年度の学校経営方針について

校長：令和 8 年度の学校経営方針について配布資料を基に説明した。

（説明要旨）学校教育目標、目指す学校像、目指す児童像、目指す家庭像、チーム新町小の合言葉、目指す教師像、本年度の重点と具体的な取組

委員：通級指導教室に通っている子供たちと同じ教室の子供たちの受け止め方はどのような感じ感じか？

校長：通常学級に所属している子供が、週に 1 時間、「この時間に私は通級に行く」という時間を設定して通級に行っている。残っている子供たちの反応は、低学年の頃から行っている子供も少なくないので、「行ってらっしゃい」「行ってきます」という柔らかい受け止めが多いと思っている。課題として、保護者が周りの目を気にして「通級指導教室に通うのはちょっとまだやめておきます」というケースはゼロではないかなと思う。

委員：他の子供から、「あの子は僕らとは違う」という風に見られることはないのか。

校長：今は通級だけでなく、特別支援学級の子供も「交流」ということで、自分たちが決めた時間に一緒に学んでいる。保育園や幼稚園の時から同じ空間で過ごして育っていることも少なくないので、同じ仲間として認知され、壁みたいなものが少なくなってきたのかなと思う。

委員：情緒のことを勉強するというか、自分の気持ちをうまく伝えられないというところで、通級の黒板に「今の気分はどんな感じ？」と貼ってあったが、それを本人が自分の教室に戻った時にも使えるような形にすることは考えているか？

校長：基本的には、通級で行ったことを自クラスで表現できるようになるのが理想である。現状は週 1 時間しかなく、担任と通級の担当が、学んだことや課題、支援方法について放課後に話をして、そのサイクルの中で支援をしているところが大きいので、通級で使った道具を使って通常級でも全く同じように取り組むのは難しいと感じている。

委員：学校から地域に希望したい事や心配事があるか。

校長：2つある。1つは、これまでもご協力いただいている授業への外部講師としてのサポート（ミシンボランティア、畑のお手伝い、読み聞かせボランティア等）は本当にありがたく思っているので継続してお願いできればと思う。2つ目は、今、登下校の仕方が大きな課題の一つだと思っている。本校は大きな道路も踏切もあり、様々な条件が詰まっている地域である。踏切の件で駅員さんからご指導を受けたこともあるし、下校の仕方で地域の方からかなり強い言葉でご指摘を受けたこともある。他人の土地に入ってしまったたり、石を蹴りながら、あるいは歩道いっぱいに広がって歩いてしまったりする。交通ルールを守って登下校するというところに、可能な範囲で地域の方々がご協力いただけるとありがたいなと思っている。

委員：私のところにも依頼が来ている。地域の中で働いている方の目線で登下校を見ると、休憩時間に外に出た時に、敷地の中に入りながら帰ってる子供がいる。鉄砲道を見てみると縁石に乗って歩き、誰かがボンと押して道路にバンと出る、というような状況をよく目にするというお話を伺った。応援団としても呼びかけており、コーディネーターも色々で見守りをしてくれる方がいないか駆け巡ってくださっているが、高齢化で引退していく方も多く、人員確保が本当に難しい。登校に関しても、学校に近づくに連れて気が緩んでふざけてしまう子供がいる。登下校の案件は命に関わることなので、一番の課題かなと思う。

会長：日頃、遊歩道を通っている子に注意をしている。遊歩道は安全かもしれないが、その先のヤオコーの前の通りには信号がなく危険だから通学路にはなっていない。地域の皆さんで声かけをしながら見守っていくことが大切である。

委員：昔、市民センターのサークル活動をやられている方々が、ビブスを着けていろいろな所に立ってくれていたことがあった。もしご協力をお願いできるのであれば、地域のみんなで子供を守るというところで復活してもらえたらありがたいなと思っている。

委員：自分たちが庭先にいると、子供が「こんにちは」と挨拶をして通ってくれる。地域の子供たちは地域で見ていかないといけない。地域の教育力があって、学校の教育がその上にある。地域の子供たちがいい挨拶ができているかどうかを見ていただきたい。知らないところを通った時に挨拶をしてくれる子供たちが結構いる。そういう温かい地域になってもらいたい。登校時に、車道で子供を下ろす家庭が割と多いし、班長同士で話をしている班が多い。ふざけ合いながら登校したり、一人ポツンとしている子がいたりする。やはり地域の皆さんで見ていただければいいかなと思う。

委員：旗当番を昨年からは任意化していて、黄色い旗はお配りして各担当地区はそのまま残しているが、体感的には自主的に出る方はほとんどいらない状況だと思う。これを復活させるのかどうかはもう一度PTAの中や地区代表さんとお話して決めていきたい。夕方、自転車の乗り方が危ない子や横断歩道を見殺しして走っている子を見かけるので、課題なんだろうなと思っている。朝の登校について、町屋のローソン付近にボランティアの方が立ってくださっているらしいが、PTAでも課題として上がっている。交通指導員さんの人数が足りな

いので、もう一度 PTA、地区委員の中で相談させていただいて、何かいい案があれば教えていただければと思う。

会長：地域の皆さんがお集まりですので、登下校等についても地域として何ができるのか話し合いを進めていくべきなのかなと思っている。このようなご意見を参考に教育活動を推進していただくようお願いする。

議題 3、学校・家庭・地域における諸課題について

「登下校・放課後の安全な生活、見守り」について 3 つのグループに分かれて協議を行った。

第 1 グループ：キーワードとして「人間関係」「自分中心にならない」「地域の繋がり」等が出た。ボランティアや当番にどうやって入ったらいいか、具体的な発信がある则行きやすいという意見や、家庭の状況で放課後の自由な時間が長くなっている子供の自転車の運転やルールの守り方がちょっと荒いかなという意見が出た。

第 2 グループ：地域の方と保護者の方と連携しながら同じ声かけをしていけると、子供たちに入りやすいという話になった。保護者の方によって温度差があって、地域の方が注意しても「うちの子はやってない」と言われてしまうと指導ができない。みんなで同じ温度で注意ができるよう、共通見解を持つことが必要ではないか。また、学校の前や鉄砲道の付近でスピードが出やすいので、何か仕掛けができないかという話が出た。

第 3 グループ：子供が飛び出してきて危ない事例があるという話が出た。地域から学校にお電話をいただくことがあるが、学校はそれをありがたいと捉えて指導に活かしている。学校では、担任から話す、全校に放送で入れる、あるいは特定のスポットを通るグループを呼んで子供たちから話を聞き、個人を特定、指導し保護者に連絡する等、状況によって対応している。交通安全教室で外部団体の方に指導していただいたり、一斉下校の際に登校班の指導を行ったりしている。やはり地域と家庭と学校が同じベクトルで見えていくのが大事で、外部団体（交通安全母の会等）にご協力いただくのも一つの手ではないかというお話があった。

委員：鶴ヶ島では現在も交通安全指導母の会の活動はあるか。

教頭：調べてみる。

会長：改めて、学校・家庭・地域の連携の大切さを感じた。この運営協議会を通して、皆さんと連携しながら進めていければと思っている。